

平成 31 年 ・ 令和元年

災 害 の 記 録

鹿 児 島 県



## はじめに

平成31年・令和元年中の災害では、死者2人・負傷者12人の人的被害があり、災害による被害総額は、約181億円となりました。

主なものとしましては、6月末からの大雨により、2名の方が亡くなられたほか、5名の方が負傷されました。

また、河川の氾濫や土砂災害等による被害が発生したほか、住宅の全壊や半壊、床上浸水などの住宅被害を初め、農作物や農業施設などでも大きな被害が生じました。

自然災害による被害を受けやすい本県においては、防災対策を県政の重要課題のひとつとして平成20年4月に施行した「県防災対策基本条例」に基づき、県民が自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がお互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、市町村、県及び防災関係機関が行う「公助」を基本として、各主体がそれぞれの役割と責任のもとに連携・共同して防災対策を着実にを行うこととし、各般にわたる様々な施策の積極的な推進に取り組んでいるところです。

今後とも県民の生命、財産を守るため、市町村や防災関係機関等と緊密な連携を図りながら災害の未然防止に万全を期して参りたいと考えています。

ここに、平成31年・令和元年中に県内で発生した災害を収録しましたので、今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

最後に本誌の編集に当たり、御協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和3年3月

鹿児島県危機管理防災局

災害対策課長 黒崎 光生

## 目 次

第 1	災害の概況	・・・・・・・・	1
第 2	被害総括表	・・・・・・・・	2
第 3	降雨・台風災害等		
1	1 月 31 日の強風	・・・・・・・・	7
2	3 月 19 日の大雨	・・・・・・・・	12
3	4 月 10 日の大雨	・・・・・・・・	18
4	4 月 14 日の大雨	・・・・・・・・	24
5	4 月 25 日の大雨	・・・・・・・・	29
6	5 月 1 日の大雨	・・・・・・・・	34
7	5 月 10 日の地震	・・・・・・・・	39
8	5 月 18 日の大雨	・・・・・・・・	40
9	5 月 19 日の大雨	・・・・・・・・	46
10	6 月 7 日の大雨	・・・・・・・・	52
11	6 月 9 日の大雨	・・・・・・・・	58
12	6 月 15 日の大雨	・・・・・・・・	63
13	6 月 18 日の大雨	・・・・・・・・	68
14	6 月 21 日の大雨	・・・・・・・・	73
15	6 月 26 日の大雨	・・・・・・・・	78
16	6 月 28 日の大雨	・・・・・・・・	83
17	6 月 29 日～7 月 5 日の大雨	・・・・・・・・	90
18	7 月 13 日～14 日の大雨	・・・・・・・・	111
19	7 月 20 日の大雨	・・・・・・・・	119
20	7 月 21 日の大雨	・・・・・・・・	125
21	8 月 2 日の大雨	・・・・・・・・	131
22	8 月 5 日～6 日の台風第 8 号	・・・・・・・・	136
23	8 月 13 日～14 日の台風第 10 号	・・・・・・・・	148
24	8 月 30 日の大雨	・・・・・・・・	160
25	9 月 6 日の大雨	・・・・・・・・	165
26	9 月 7 日の台風第 13 号	・・・・・・・・	170
27	9 月 12 日の大雨	・・・・・・・・	178
28	9 月 21 日～22 日の台風第 17 号	・・・・・・・・	183
29	10 月 11 日の台風第 19 号	・・・・・・・・	195
30	10 月 17 日の大雨	・・・・・・・・	203
31	10 月 21 日の大雨	・・・・・・・・	208
32	11 月 24 日の落雷	・・・・・・・・	213

第4	火山の活動状況及び被害状況	
1	桜島	219
2	霧島山（新燃岳，御鉢，えびの高原（硫黄山））	225
3	薩摩硫黄島	244
4	口永良部島	248
5	諏訪之瀬島	255
第5	参考資料	
1	平成31年・令和元年災害気象名別被害額一覧表	260
2	平成31年・令和元年災害年報	262
3	平成31年・令和元年局地激甚災害指定	264
4	平成31年・令和元年警報発令状況	265
5	平成31年・令和元年地震発生状況	301
6	平成31年・令和元年火山情報発表状況	302
7	平成31年・令和元年避難勧告等発令状況	304
8	平成31年・令和元年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	306
9	平成31年・令和元年火災発生状況	308
10	平成31年・令和元年出火原因別火災件数	309
11	鹿児島県におけるプロパンガス事故の発生状況	310
12	噴火警戒レベルとは	312
13	特別警報について	313

## 平成31年・令和元年の鹿児島県内の天気の特徴

平成31年・令和元年は、梅雨期以外は気温が平年並か平年より高かった。梅雨期は降水量が平年より多く、気温が平年より低かった。台風の接近数は九州南部5個（平年3.3個）、奄美地方1個（平年3.8個）であった。

1月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、中旬までは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、31日は低気圧の影響で荒れた天気となった所があった。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、31日は低気圧の影響で荒れた天気となった所があった。なお、3日に鹿児島で初霜を観測した（平年より24日遅く、昨年より27日遅い）。

月平均気温は、ほとんどの地点で高く、鹿児島市9.6度（平年比+1.1、以下カッコ内は平年比）、西之表市12.5度（+1.0）、奄美市15.8度（+1.0）であった。月降水量は、全ての地点で少なく、鹿児島市34.5ミリ（45%）、西之表市39.0ミリ（44%）、奄美市81.5ミリ（41%）であり、屋久島では56.0ミリで1月の最小値を更新した。月間の日照時間は、ほとんどの地点で多く、鹿児島市155.7時間（117%）、西之表市138.8時間（135%）、奄美市73.0時間（121%）であった。

2月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過したため、晴れの天気は続かず曇りや雨の日が多かった。19日は九州北岸を東進した低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため激しい雨の降った所があった。奄美地方では前線や気圧の谷の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が続き、ぐずついた天気となった。なお、この冬（12月から2月）は記録的な暖冬となり、鹿児島での雪の観測と桜島冠雪の観測はなかった。

月平均気温は、全ての地点で高く、鹿児島市11.3度（平年比+1.5）、西之表市13.8度（+1.8）、奄美市17.2度（+2.0）であった。月降水量は、多い地点が多く、鹿児島市158.0ミリ（141%）、西之表市201.5ミリ（178%）、奄美市223.5ミリ（138%）であった。月間の日照時間は、ほとんどの地点で少なく、鹿児島市105.6時間（78%）、西之表市68.2時間（60%）、奄美市38.3時間（65%）であった。

3月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、上旬は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、中旬は高気圧に覆われて晴れの日が多く、下旬は天気が数日の周期で変化した。奄美地方では、上旬は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、その後は天気が数日の周期で変化した。

月平均気温は、高い地点が多く、鹿児島市13.6度（+1.1）、西之表市15.2度（+0.8）、奄美市17.9度（+0.8）であった。月降水量は、鹿児島市169.0ミリ（94%）、西之表市231.0

ミリ（133%）、奄美市 189.0 ミリ（81%）であった。月間の日照時間は、ほとんどの地点で多く、鹿児島市 185.6 時間（125%）、西之表市 164.1 時間（130%）、奄美市 117.5 時間（143%）であった。鹿児島市では 25 日にソメイヨシノが開花（平年より 1 日早い）、4 月 9 日に満開（平年より 5 日遅い）となった。

尾之間では 19 日に 80.0 ミリ、種子島では 21 日に 55.0 ミリの日最大 1 時間降水量を観測し、3 月の極値を更新した。

4 月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、天気は数日の周期で変化し、中旬までは高気圧に覆われて晴れた日が多く、下旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。10 日は荒れた天気、29 日は大雨となった所があった。奄美地方では、上旬は数日の周期で天気が変わり、中旬以降は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。5 日は大雨や荒れた天気、25 日と 29 日から 30 日にかけては大雨となった所があった。

月平均気温は、平年並か高く、鹿児島市 17.5 度（+0.6）、西之表市 18.1 度（+0.3）、奄美市 20.1 度（+0.3）であった。月降水量は、鹿児島市 130.0 ミリ（64%）、西之表市 142.5 ミリ（68%）、奄美市 338.5 ミリ（148%）であった。月間の日照時間は、鹿児島市 198.0 時間（118%）、西之表市 175.6 時間（117%）、奄美市 91.8 時間（85%）であった。

5 月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、上旬の前半と下旬の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、その他の期間は低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。18 日から 20 日にかけて湿った空気の流れ込みが続き、大雨や荒れた天気となった所があった。奄美地方では、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。

なお、奄美地方は 14 日ごろ（平年より 3 日遅く、昨年より 13 日早い）、九州南部は 31 日ごろ（平年と同じ、昨年より 5 日早い）梅雨入りしたと見られる。

月平均気温は、平年並か高く、鹿児島市 21.3 度（+0.5）、西之表市 21.5 度（+0.6）、奄美市 22.5 度（-0.2）であった。月降水量は、鹿児島市 132.5 ミリ（60%）、西之表市 332.0 ミリ（143%）、奄美市 307.0 ミリ（119%）であり、内之浦では 634.5 ミリで 5 月の最大値を更新した。月間の日照時間は、平年並か多く、鹿児島市 195.9 時間（112%）、西之表市 172.9 時間（113%）、奄美市 138.4 時間（109%）であった。

尾之間では、18 日に日最大 1 時間降水量 100.0 ミリを観測し、年の極値を更新した。また、日降水量の 5 月の極値を、尾之間（293.5 ミリ）、屋久島（439.5 ミリ）、佐多（180.0 ミリ）、内之浦（374.0 ミリ）で更新した。

6 月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、中旬は天気が数日の周期で変わったが、上旬と下旬は梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。7 日、14 日から 15 日、28 日と 30 日は大雨や荒れた天気となった所があった。奄美地方では、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、8 日から 9 日、19 日、21 日は大雨や荒れた天

気となった所があった。なお、21日に古仁屋では237.0ミリの日降水量を観測し、6月の極値を更新した。

月平均気温は、平年並か低く、鹿児島市24.0度(±0.0)、西之表市23.4度(-0.6)、奄美市25.3度(-0.7)であった。月降水量は、鹿児島市253.5ミリ(56%)、西之表市297.0ミリ(65%)、奄美市649.0ミリ(158%)で、奄美地方で多く、与論島では791.5ミリ、天城では817.5ミリで年間の月降水量の極値を更新した。月間の日照時間は、鹿児島市125.3時間(103%)、西之表市104.6時間(72%)、奄美市89.5時間(74%)であった。

7月は、梅雨前線や湿った空気、台風第5号の影響で曇りや雨の日が多かった。特に1日から5日、13日から14日、20日から22日は大雨となった所があった。

なお、奄美地方は13日ごろ(平年より15日遅く、昨年より18日遅い)、九州南部は24日ごろ(平年より10日遅く、昨年より15日遅い)、梅雨明けしたと見られ、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

月平均気温は、ほとんどの地点で低く、鹿児島市27.2度(-0.9)、西之表市27.0度(-0.4)、奄美市28.4度(-0.3)であった。月降水量は、ほとんどの地点で多く、鹿児島市1005.5ミリ(315%)、西之表市238.0ミリ(109%)、奄美市206.0ミリ(102%)であり、東市来では986.0ミリで年間の月降水量の極値を、八重山では1076.5ミリで7月の月降水量の極値をそれぞれ更新した。月間の日照時間は、ほとんどの地点で少なく、鹿児島市138.7時間(73%)、西之表市173.4時間(76%)、奄美市153.8時間(73%)であった。

鹿児島市では、3日に日降水量375.0ミリ、最大24時間降水量376.0ミリを観測し、年の極値を更新した。日降水量の年の極値は、東市来(313.5ミリ)、輝北(405.5ミリ)、大隅(421.0ミリ)、吉ヶ別府(460.0ミリ)、加世田(354.5ミリ)、喜入(329.5ミリ)でも更新した。

8月は、前線や台風、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。特に13日から15日にかけて、台風第10号が日本の南から九州の東海上を北上したため、薩摩・大隅、種子島・屋久島地方では、大雨や荒れた天気となった所があった。また、湿った空気の影響により、18日は奄美地方で、30日は種子島・屋久島地方で大雨となった所があった。なお、30日に中種子で61.5ミリ、上中で64.5ミリ、尾之間で51.0ミリの日最大1時間降水量を観測し、8月の極値を更新した。

月平均気温は、ほとんどの地点で平年並か高く、鹿児島市28.8度(+0.3)、西之表市28.0度(+0.1)、奄美市28.7度(+0.3)であった。月降水量は、平年並か多く、鹿児島市186.0ミリ(83%)、西之表市386.5ミリ(194%)、奄美市366.0ミリ(136%)であり、中種子では434.5ミリで8月の極値を更新した。月間の日照時間は、ほとんどの地点で少なく、鹿児島市161.4時間(78%)、西之表市183.4時間(84%)、奄美市148.2時間(84%)であった。



9月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、高気圧に覆われて晴れた日が多く、6日から7日、20日から23日は台風や湿った空気の影響で大雨や荒れた天気となった所があった。奄美地方では、台風第13号、第17号や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、5日から7日、19日から22日は大雨や荒れた天気となった所があった。

月平均気温は、全ての地点で高く、鹿児島市27.8度(+1.7)、西之表市27.1度(+1.1)、奄美市27.7度(+0.9)であった。月降水量は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では平年並か少なく、鹿児島市86.5ミリ(41%)、西之表市160.5ミリ(59%)、奄美地方では多く、奄美市429.0ミリ(142%)であった。月間の日照時間は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では平年並か多く、鹿児島市203.2時間(115%)、西之表市189.9時間(116%)、奄美地方では少なく、奄美市115.3時間(81%)であった。

10月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、中旬の中頃までは高気圧に覆われて晴れた日が多く、その後は数日の周期で天気が変わった。奄美地方では、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、その後は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、17日と23日は大雨となった所があった。なお、29日に笠利では前線を伴った低気圧の影響で、56.0ミリの日最大1時間降水量を観測し、10月の極値を更新した。

月平均気温は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、ほとんどの地点でかなり高く、鹿児島市23.0度(+1.8)、西之表市23.5度(+1.6)、奄美地方では、ほとんどの地点で高く、奄美市24.5度(+0.8)であった。月降水量は、平年並の地点が多く、鹿児島市100.5ミリ(99%)、西之表市108.0ミリ(65%)、奄美市191.5ミリ(82%)であった。月間の日照時間は、平年並か少なく、鹿児島市177.3時間(95%)、西之表市156.8時間(101%)、奄美市93.1時間(83%)であった。

11月は、上旬と中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日があり、大雨や荒れた天気となった所があった。下旬は前線や湿った空気、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。なお、22日に伊仙で48.0ミリの日最大1時間降水量、24日に中種子で107.0ミリの日降水量をそれぞれ観測し、11月の極値を更新した。

月平均気温は、平年並か高く、鹿児島市17.0度(+1.1)、西之表市18.4度(+0.5)、奄美市20.6度(+0.4)であった。月降水量は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、ほとんどの地点で平年並か少なく、鹿児島市73.5ミリ(80%)、西之表市135.0ミリ(102%)、奄美地方では平年並か多く、奄美市362.0ミリ(201%)であった。月間の日照時間は、全ての地点で多く、鹿児島市195.6時間(126%)、西之表市166.4時間(125%)、奄美市100.9時間(117%)であった。

12月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、上旬の終わりから中旬の前半にかけては高気圧に覆われて晴れた日が多く、他の期間は数日の周期で天気が変わった。奄美地方では、中旬の中頃は高気圧に覆われて晴れた日が続き、他の期間は前線や湿った空気、寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。なお、2日、7日、16日、21日、22日、25日から27日、31日は大雨や荒れた天気となった所があった。なお、1日に阿久根で51.5ミリ、21日に笠利で37.5ミリの日最大1時間降水量をそれぞれ観測し、12月の極値を更新した。

月平均気温は、全ての地点で高く、鹿児島市12.1度(+1.5)、西之表市15.0度(+1.3)、奄美市17.6度(+1.1)であった。月降水量は、平年並か多く、鹿児島市140.5ミリ(197%)、西之表市161.0ミリ(196%)、奄美市209.5ミリ(134%)であり、中種子では272.5ミリで12月の極値を更新した。月間の日照時間は、平年並か少なく、鹿児島市128.9時間(86%)、西之表市108.8時間(98%)、奄美市68.8時間(93%)であった。

1年間の平均気温は、鹿児島19.4度(+0.8)、阿久根18.0度(+0.8)、枕崎18.9度(+0.8)、屋久島20.2度(+0.8)、種子島20.3度(+0.7)、奄美市名瀬22.2度(+0.6)、沖永良部23.1度(+0.7)で、いずれも「平年よりかなり高い」であった。

年間降水量は、鹿児島2470.0ミリ(109%)、阿久根2418.5ミリ(118%)で「平年より多い」、枕崎2024.0ミリ(93%)、屋久島4434.5ミリ(99%)、種子島2432.0ミリ(104%)で「平年並」、奄美市名瀬3552.5ミリ(125%)で「平年よりかなり多い」、沖永良部2198.5ミリ(120%)で「平年より多い」であった。

年間の日照時間は、鹿児島1971.2時間(102%)、阿久根2017.8時間(103%)で「平年より多い」であり、枕崎1959.2時間(102%)で「平年並」、屋久島1466.6時間(96%)で「平年より少ない」、種子島1802.9時間(100%)で「平年並」、奄美市名瀬1228.6時間(90%)で「平年よりかなり少ない」、沖永良部1796.2時間(96%)で「平年より少ない」であった。

## 第1 災害の概況

平成31年・令和元年中の災害では、死者・負傷者14人の人的被害があり、災害による被害総額は、約181億円で、そのうち、6月末からの大雨による被害額が約151億円で全体の約83%、5月18日の大雨による被害額が約7億円で全体の約3%となった。

- 降雨災害  
梅雨期間の雨により、人的被害（死亡）、床上・床下浸水などの住家被害が発生した。
- 台風災害  
平成31年・令和元年年中に本県に被害をもたらした台風は5個あり、被害総額は約6億円であった。
- その他の被害  
強風、地すべり、落雷等により、農産被害や公共土木施設の被害が発生した。
- 火山災害  
桜島の降灰により、野菜等の農作物に被害が発生した。（被害額未確定）

### ◆ 災害種別被害額

平成31年・令和元年被害総額 18,145,283千円

種 類	被害額（千円）
降 雨 災 害	17,317,973
台 風 災 害	628,417
そ の 他 災 害	198,893
合 計	18,145,283

### ◆ 平成31年・令和元年の梅雨時期

鹿児島地方 } 5月31日ごろ～7月24日ごろ  
種子島・屋久島地方 } (6月5日ごろ～7月9日ごろ)

奄美地方 5月14日ごろ～7月13日ごろ  
(5月27日ごろ～6月26日ごろ)

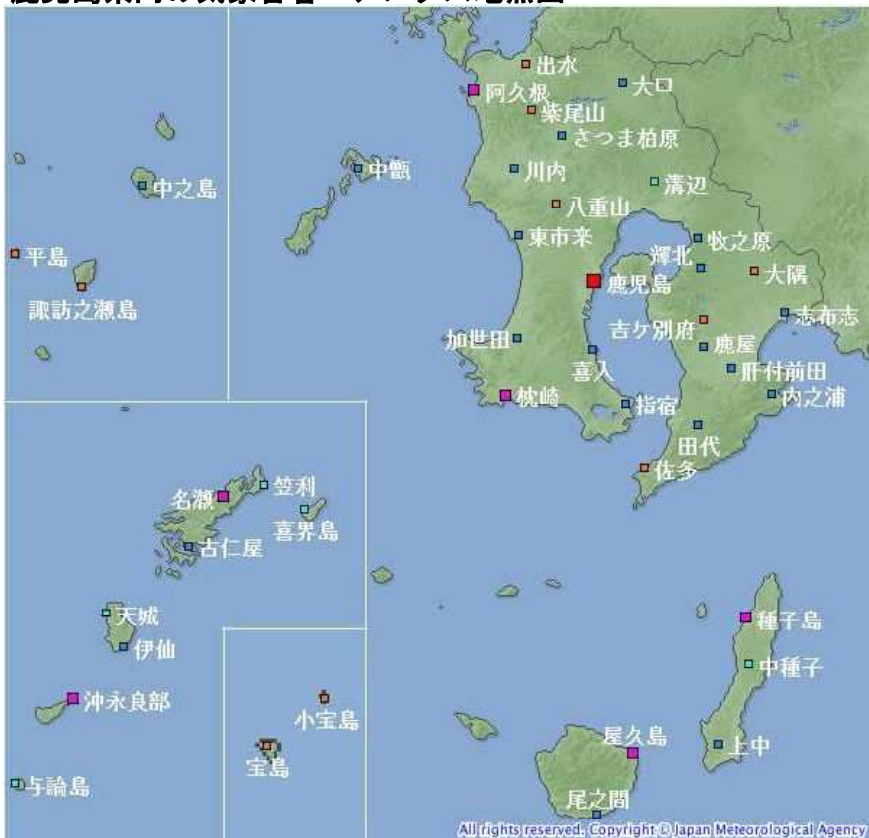
※（ ）内は、平成30年の梅雨時期

第2 被害総括表

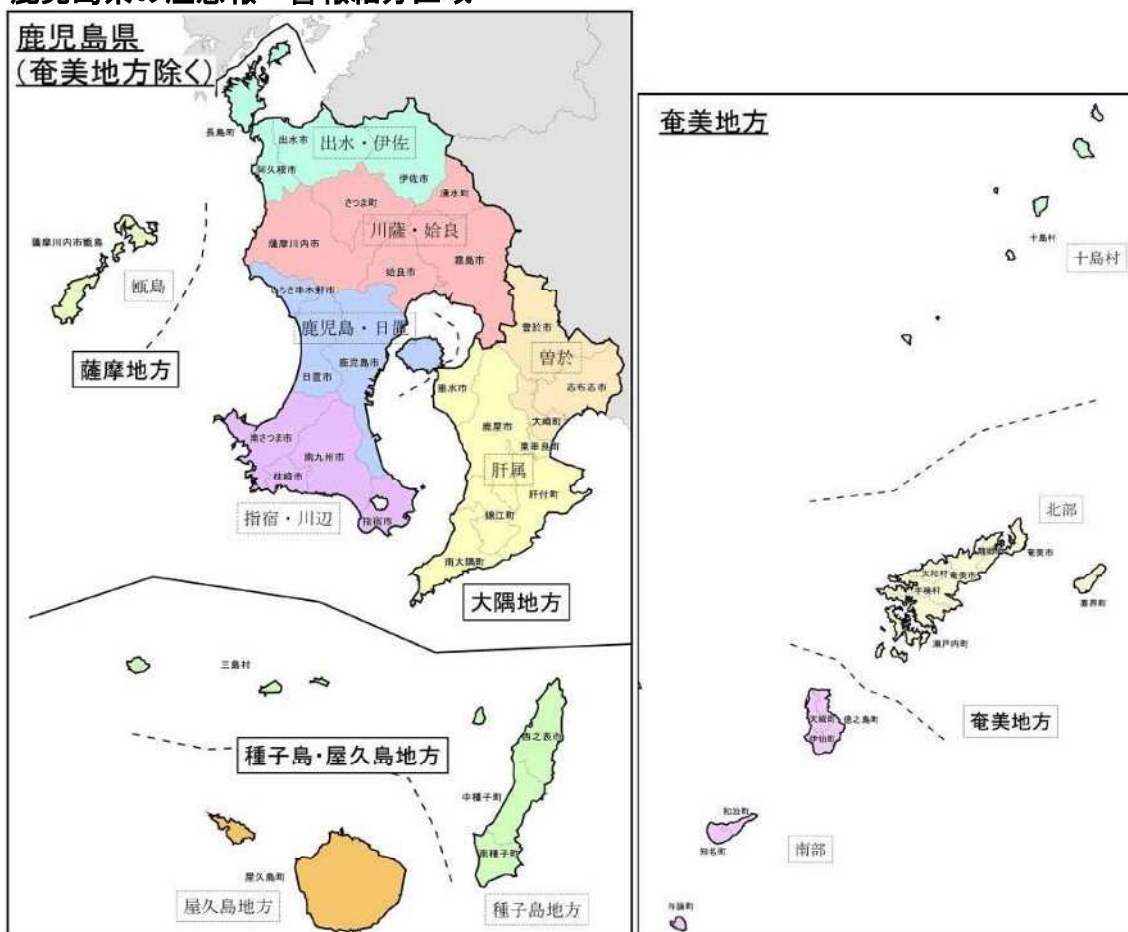
区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分	被害数	単位	被害額(千円)		
人 的 被 害	死 者	2	人		衛 生 福 祉 関 係 の 被 害	病院・診療所等	棟			
	行方不明		人			水道施設	682	箇所	6,891	
	重 傷 者	1	人			清掃施設		〃		
	軽 傷 者	11	人			福祉施設		〃		
	合 計	14	人			そ の 他	1	〃	15,127	
				合 計		683	〃	22,018		
住 家 の 被 害	全 壊	棟 数	10	棟	農 作 物 の 被 害	水 陸 稲	432.20	ha	84,477	
		世 帯 数	9	世帯		麦 類		〃		
		人 員	18	人		雑穀いも豆類	52.20	〃	4,703	
	半 壊	棟 数	8	棟		野 菜	607.65	〃	112,838	
		世 帯 数	8	世帯		果 実	13.90	〃	217	
		人 員	14	人		工 芸 作 物	6,482.60	〃	93,737	
	一 部 破 損	棟 数	29	棟		飼 料 用 作 物	0.30	〃	17	
		世 帯 数	29	世帯		花 き	1.55	〃	2,287	
		人 員	50	人		桑		〃		
	床 上 浸 水	棟 数	83	棟		茶	0.10	〃	25	
		世 帯 数	142	世帯		樹 体		〃		
		人 員	179	人		そ の 他	0.10	〃	78	
	床 下 浸 水	棟 数	213	棟		合 計	7,590.60	〃	298,379	
		世 帯 数	213	世帯		農 地	田	752	箇所	
		人 員	346	人			(流出埋没)	135.48	ha	884,100
	棟 数	343	棟	畑			323	箇所		
合 計	世 帯 数	401	世帯	(流出埋没)	49.53	ha	547,400			
	人 員	607	人	関 係 の 被 害	た め 池	2	箇所	8,000		
	公 共 建 物	棟 数 全 壊 半 壊	1		棟	頭 首 工	59	〃	96,000	
水 路						305	〃	833,900		
そ の 他	棟 数 全 壊 半 壊	29	棟		道 路	321	〃	1,008,600		
					橋りょう		〃			
					農地保全		〃			
					揚 水 機		〃			
					そ の 他		〃			
					合 計	1,762	〃	3,378,000		
					家畜等の被害	18		5,299		

区 分				被害数	単位	被害額(千円)	区 分				被害数	単位	被害額(千円)	
農業生産用資材施設	耕種関係		19	棟	2,028	土木関係の被害	国庫負担対象	国交省港湾	県工事	2	箇所	242,770		
	畜産関係		9	〃	34,600				市町村	〃				
	蚕糸関係			〃					小計	2	〃	242,770		
	園芸関係		37	〃	7,287			農水省漁港	県工事	3	〃	51,548		
	その他		4	〃	7,573				市町村	〃				
	合計		69	〃	51,488				小計	3	〃	51,548		
水産関係の被害	漁船		2	隻	222	被害	合計		738	〃	12,161,766			
	漁具			統			その他	173	〃	182,004				
	施設その他			件			総計	911	〃	12,343,770				
	合計		2		222									
鉱工業関係被害						学校関係の被害	高等学校		13	校	7,449			
商業関係の被害	店舗		8	棟			中学校		6	〃	63,383			
	その他施設		11	件	29,210		小学校		9	〃	48,722			
	商品		2	件	2,500		その他		1	〃	805			
	合計		21		31,710		合計		29	〃	120,359			
山林関係の被害	林地(崩壊地)		20	箇所	449,785	その他の公共施設被害		21	箇所	475,312				
	施設等被害	治山施設		25	〃	455,600	鉄道の関係	鉄軌道関係		11	件			
		林道		138	〃	513,341		線路工作物関係		〃				
		林産施設			〃			停車場工作物関係		〃				
	林産物			ha		機械関係		〃						
	合計		183		1,418,726	建築物関係		〃						
土木関係の被害	国庫負担対象	国	県	河川		390		箇所	6,482,036	被害	電気通信関係		〃	
				砂防		6	〃	68,171	電気通信関係被害		〃			
				道路		86	〃	1,943,654	電力関係被害		〃			
				急傾斜			〃		水道関係被害			戸		
				橋りょう			〃		警察関係の被害			件		
				海岸		1	〃	397,187	交通安全施設の被害			〃		
				その他		1	〃	1,783	その他					
				小計		484	〃	8,892,831	崖くずれ		167	箇所		
				市町村工事	河川		85	〃	711,050		被害総額			18,145,283
					道路		162	〃	1,953,869					
					橋りょう		2	〃	309,698					
					その他			〃						
					小計		249	〃	2,974,617					

鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



鹿児島県の注意報・警報細分区域



## 内容に関する説明

### 1. 雨の降り方の表現

1時間雨量が30ミリ以上50ミリ未満の場合、「激しい雨」

1時間雨量が50ミリ以上80ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」

1時間雨量が80ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が100ミリ以上を「大雨」という。

### 2. 表中の数値の補足

網掛けしている数値は「資料不足値」を意味する。利用に関しては注意を要する。

### 3. 平年値について

1981年～2010年の平均値を使用している。

### 4. 観測値の極値は2019年までの値。

## 九州南部および奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	5月10日ごろ	6月29日ごろ
2014年	6月2日ごろ	7月16日ごろ	5月5日ごろ	7月4日ごろ
2015年	6月2日ごろ	7月14日ごろ	5月19日ごろ	7月6日ごろ
2016年	5月24日ごろ	7月18日ごろ	5月16日ごろ	6月18日ごろ
2017年	6月6日ごろ	7月13日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2018年	6月5日ごろ	7月9日ごろ	5月27日ごろ	6月26日ごろ
2019年	5月31日ごろ	7月24日ごろ	5月14日ごろ	7月13日ごろ
平年	5月31日ごろ	7月14日ごろ	5月11日ごろ	6月29日ごろ